



農作業を学ぶだけでなく、地域に貢献する体験を積み重ねることで自信や生きがいを持ち、自立と社会参加を目指せるよう、地域との連携を通じた協働的な学びの充実を図る。

基本情報

- 所在地：広島県広島市
- 団体名：広島県立広島特別支援学校
- 選定表彰： —
- 主力商品：トマト、きゅうり、なす、ピーマン、さつまいも、大根、白菜、人参、小松菜
- 取得認証等： —



夏野菜の収穫



ひろとくファームの垂れ幕

取組の概要

- 全ての年次の生徒が、自信や生きがいを持ち、自立と社会参加を目指せることを目的にして、作業学習【農業】の授業において、学校内の圃場で農作業を実施。
- 土ふるいや堆肥作りなどを行うため、攪拌機のある屋根付き小屋を整備し、作業棟には車いすの児童生徒が室内で安全に作業できる水耕栽培を設置している。
- 地域の公民館と連携した野菜の販売や、近隣住民を対象に訪問販売（受注型）を実施。
- 学校見学会等で来校される方々、近隣の小学校、インターナショナルスクールの児童による収穫体験を実施し、生徒が収穫や袋詰めの手方を説明する場を設けている。
- 県内の農業を専門とする高等学校と連携し、近隣小学校の児童に農作業を教えている。また、土壌調査を依頼するなど、生徒同士が学び合う場を設けている。



野菜販売の様子



農場の様子



水耕栽培施設

体制図



取組の成果

- 農作業を通して、就労に必要な基本的な態度や意欲を身に付け、様々な職種への就労につながっている。
- 公民館での販売や近隣への訪問販売では、地域貢献への意欲や社会参加への自信につながっている。
- 収穫体験や小学校、高等学校との協働活動では、学んだことを発揮し、感謝されることで自己有用感の高まりにつながっている。

所在地 ▶ 広島県広島市安佐北区倉掛2丁目47-1

連絡先 ▶ TEL:082-843-1811 E-mail: hiroshima-sh@hiroshima-c.ed.jp

ウェブサイト ▶ <https://www.hiroshima-sh.hiroshima-c.ed.jp/>

【取組のプロセス】

きっかけ

自信や生きがいをもって自立と社会参加を目指し、雇用や就労につなげてほしいという思いから農福連携の取組を開始

農福連携の開始

○農福連携の取組から、障害のある児童生徒が地域に貢献できる体験を積み重ね、自信や生きがいをもって自立と社会参加を目指し、雇用や就労にもつながってほしいという思いから、農福連携を開始。



作業の様子

令和3年

地域社会との連携

○高齢化が進む地域の中で大根の訪問販売を行ったことが、高齢者の負担軽減だけでなく地域住民と生徒の交流の場となり、地域課題の解決に向けた取組の一つとなった。



訪問販売の様子

令和4年

連携の輪の広がり

○学校運営協議会を通して地域の様々な関係機関から助言を受け、農福連携の連携先や応援団になってもらうなど、連携の輪が広がり、地域を支えることができる人材として、自信や地域貢献への意欲につながっている。



収穫体験の様子

令和5年

様々な人、場所、方法で農福連携を広め、深めていく

- 収穫体験や農作業を通して、地域に対して障害のある児童生徒や特別支援学校の取組について理解を図るとともに、農業に触れるきっかけを創出する。
- 農福連携を通して人とのつながりを増やすことで、児童生徒の雇用につなげる。



野菜販売の様子

今後の
展望

作業学習「農業」や生活単元学習等を通して、農作業に関する学習を行う。

訪問販売や公民館販売など従来から取り組んでいる内容を定着、充実させるとともに取組を広める。

「地域協働における農福連携の推進」をテーマに、関係機関を広げ、取組を深める。

近隣の小学校の農作業の手伝いや収穫体験などを実施し、知識や技術を地域に還元する。